

# 青嵐



## CONTENTS

新副学長挨拶 01

Open Campus 2006 02

TOPICS 03

大学地域貢献度ランキング2位  
デンマークの子育て講演会  
インドネシア・ジャワ島募金活動  
国際交流係2号館へ 等

お知らせ 04

人事／行事予定／保健室からお知らせ

学部学科再編 05

K<sup>2</sup> BS 08

(北九大ビジネススクール)

会議等 09

役員会／経営審議会／教育研究審議会

北方サロン・公開講座 10

こらむ

キャリアセンター  
都市政策研究所  
防災センター

入試広報 REPORT 11

●学報の愛称が「青嵐（せいらん）」に決まりました。

青嵐とは、青葉茂るころに吹くやや強い風のことです。

校歌にも「見よ青嵐の足立山」と謳われているほか、青嵐グラウンド、青嵐祭（大学祭）、青嵐館（サークル会館）など本学には馴染みの深いことばです。

# 新副学長 挨拶

本年度から副学長が3人となり、各々担当を持つこととなりました。  
新たに副学長に就任したお二人に抱負を語っていただきました。

※もう1人は国武豊喜副学長(平成17年度より引き続き就任)

## 副学長 晴山 英夫

はれやま ひでお



1945年生 経済学部教授  
専門は企業論、経営学  
2002年～2004年まで経済学部長  
本年度から新設の都市政策研究所長、  
キャリアセンター長等を兼務  
地域貢献・国際交流・評価担当  
法人理事を兼務

近年、大学の環境が激変し、旧来の大学のパラダイムは大きな転換を求められています。このような時代の潮流の中、北九州市立大学も法人化を契機に大きく生まれ変わろうとしています。理事長と学長のリーダーシップのもと、本学の目指すべき基本戦略が打ち出され、「北の翼」と名づけられた変革のグランドデザインが提示されて、これに従って経営、教育、研究、社会貢献の各分野で実質的な改革が次々と進められています。

私は本年4月、このような改革途上で副学長(キャリアセンター長、都市政策研究所長等兼務)という職責をお引き受けすることになりました。私は、大学の変革にはロジックとシンパシー、明確なビジョンの提示とメンバーの価値観の共有化の2つが不可欠であり、そのいずれか1つを欠いても変革を起こすことは困難であると考えています。ロジックやビジョンはすでに学長によって明示されており、この大学で長年お世話になった私

としては、後者のネットワーク構築であれば微力ながら副学長として貢献できる余地があるのではないかと思います。副学長を引き受けました。しかし、副学長としてまだ4ヶ月しか仕事をしていませんが、この職責は私の能力を大きく超えるものであることを日々痛感しています。

キャリアセンターの機動的運営、都市政策研究所の総合的なシンクタンクへの飛躍という目標は明示されているものの、現在はその実現に向けて最初の一步を踏み出したに過ぎません。学部学科等の再編成でも学長を補佐する立場にありながら、シンパシー形成とネットワーク構築という役割期待に十分にお応えできていません。

今後、ロジックとシンパシーの相克、課題遂行における長期と短期のジレンマ、機能間・部門間の摩擦などに振り回されながらも、その不均衡が生み出すエネルギーを糧にさらなる高みを目指して仕事に取り組みたいと考えています。

## 副学長 近藤 倫明

こんどう みちあき



1952年生 文学部教授  
専門は認知心理学等  
2004年～2006年まで文学部長  
本年度から新設の基盤教育センター長  
を兼務  
教育・研究担当

本年4月1日教育・研究担当の副学長に就任いたしました。併せて新たに設立された基盤教育センターのセンター長を兼務しています。法人化2年目をむかえ中期目標・中期計画に沿って大学の改革はいよいよ具体的かつ実行的な段階へ進んでいます。大学における教育・研究はいわば大学存立の根幹であり、未来を担う若者に将来を託す最後の学び舎としての使命ともいえるものです。

教育においては、基盤教育の充実と北方地区の学部学科の再編成を平成19年4月にスタートするためにカリキュラムの見直し作業も含めて現在全学をあげて準備中です。基盤教育センターが担う基盤教育においては、単なる学部学科の専門教育への導入としてだけではなく、人間形成、人格形成までも視野に入れながら、学部学科の専門教育とあわせて現在を生き抜く力としての教養力、人間力を育成すべく、教養教育科目、語学教育科目、情報教育科目を配置します。学部教育においては外国語学部外国語学科の英語専攻を新たに英米学科、中国語専攻を中国

学科として新設し教育内容の充実を図ります。大学院においては、専門職大学院としてビジネススクールの設置が同じく予定されています。教育内容の充実の施策としてFD委員会を新設し、教育の改善、授業の改善に取り組んでいます。教育者としての教員相互の情報交換、学生の授業アンケートの分析を通して教育効果の上がる改善策を模索しています。

研究においては、研究委員会を中心に教員研究費および特別研究推進費の効果的な運用を検討するとともに、研究者としての教員間の情報交換の場として北方サロンの実施など知的ネットワーク作りによる研究環境の充実に取り組んでいます。

大学において主役である学生、教員と職員がいかに調和し、協調しながら持続可能な教育研究環境を作るのか、またその活動から生まれる知の成果をどのように市民、そして世界に還元できるのか。これまでも増して教育・研究を通じた本学の役割を考えることが今日の課題として重要だと思えます。

# Open Campus 2006 開催！



## <北方キャンパス> 7月22日(土)・23日(日)

今年度は、学内インターンシップの一つとして学生スタッフを募集し、企画から運営まで実施しました。広報活動、学生イベントの企画運営、イベント全体の運営に分かれ、それぞれが自分の持ち場でしっかり力を発揮しました。

当日は、受付会場である体育館前に開始時間よりもうずいぶん早くから、たくさんの高校生が集まり、混雑を避けるため、予定よりも早く受付を開始しました。会場では、各学部教員による学部説明会や模擬授業、なんでも相談コーナーなど多くのイベントが開催されました。本館入口付近では、職員による入試・就職・留学・学生生活・教務相談コーナーを開設しました。高校生だけでなく保護者も同席し、熱心に質問する姿が数多く見られました。

また、学生が企画したキャンパスツアー、サークル紹介、パネルディスカッションも実施しました。キャンパスツアーは、学生自身が、高校生を連れて学内を案内するというもので、学内を見学しながら直接学生に勉強方法や学生生活について聞くことができ、高校生からは大好評でした。アンケート結果を見てもほとんどの高校生が期待通りの内容だったと回答していました。

2日間で、約3,200人も参加者があり、学内はたくさんの高校生で終日賑わいました。



▲大盛況の模擬授業



▲「キャンパスツアー」を行う学生スタッフ

## <ひびきのキャンパス> 7月15日(土)・16日(日)

当日は、県内外から多くの高校生や保護者が参加。キャンパス内は普段見かけない学生服姿の高校生たちで賑わいました。

会場では、各学科紹介や入学試験の説明を行う「学部説明会」や各学科が趣向をこらした実験などを巡回する「イベントツアー」が実施されました。目の前で繰り広げられるさまざまな不思議と一緒に見学した保護者の方が熱心に質問する一幕もありました。その他先輩たちが高校生たちの質問に何でも答える「在学生・早期卒業生との情報交換会」や学内施設を見学する「キャンパスツアー」、英語学習に関するイベントなどなど。内容盛りだくさんのためすべてを見て回れず残念がる高校生も。

参加した高校生からは、「先生や先輩方がとてもやさしくてうれしかった」、「入学したい気持ちが強くなった」といった声が多く聞かれ、高校生だけでなく従事した教員や学生たちにとっても忘れられない2日間となりました。



▲移動ロボットで遊ぼう

# TOPICS



## 日経グローバル「大学の地域貢献度ランキング」第2位

北九州市立大学は、日経産業消費研究所の発行する『日経グローバルNo.53(6月5日号)』において、首都圏を除く4年制大学の地域貢献度を比較したランキングで、堂々の第2位(公立大学では第1位)となりました。

今回の結果は、本学の地域貢献、社会貢献の様々な取組が総合的に高い評価を得たものと言えます。

今後も地域貢献事業の着実な取組と一層の創意工夫、努力を重ね、地域社会の発展に貢献していきます。



## 学生課国際交流係2号館へ移動

学生課国際交流係は本学の国際交流事業を大きく展開し、留学生に対するサポート体制の充実を図り、また留学生と日本人学生の交流をさらに推し進めるため、6月7日(水)、2号館国際教育交流センターのオフィスに移転しました。

本学の留学生はセンターで過ごす時間が長く、どちらかと言えば留学生仲間だけの世界を築きがちです。

学生課で派遣留学や語学研修の窓口になっていたラインがセンターへ移転することによって、これから留学を目指す学生がセンターへも足を運ぶようになりました。実際、この2ヶ月間で本学に来ている留学生との自然な交流の輪が広がっています。

今後は、この国際教育交流センターが本学の国際交流事業を推進する大きな役割を担う場として、さらに発展していくことが期待されます。



## 市民向け講習会「デンマークの子育て」開催

北九州市立大学が市内の子育て支援団体等(乳幼児子育てネットワーク・ひまわり、NPO法人北九州子育て・親育ちエンパワメントセンター)と実施している連携事業「コラボキャンパスネットワーク」による市民向け講演会『デンマークの子育て』(講師:恒吉紀寿文学部助教授)が6月28日(水)に開催されました。



当日の参加者は一般、学生合わせて100名を超え、北欧の社会福祉先進国デンマークの教育、文化、子育てなどについて、日本との比較や実体験をふまえた興味深い講演内容に会場からも高い評価をいただきました。その後に行われたキャンパスツアーには約20名の参加者がありました。

当日の参加者は一般、学生合わせて100名を超え、北欧の社会福祉先進国デンマークの教育、文化、子育てなどについて、日本との比較や実体験をふまえた興味深い講演内容に会場からも高い評価をいただきました。その後に行われたキャンパスツアーには約20名の参加者がありました。



## 北方事業場過半数代表者が選出される

北方事業場職員の過半数の労働者を代表する者(過半数代表者)を選出する信任投票が、6月29日(木)から7月5日(水)まで行われ、文学部の小賀久助教授が信任されました。

過半数代表者は、労働基準法に基づく就業規則作成・変更にあたっての意見書作成などを行います。



## 名誉教授称号授与式

平成18年度名誉教授称号授与式が、5月25日(木)、学長室で行われました。

当日は、新名誉教授のうち、山崎克明氏、辻光博氏、乗口眞一郎氏、村田朋美氏の4名が出席されました。



## インドネシア・ジャワ島復興支援募金活動～学生が小倉駅前募金を呼びかけ

インドネシア・ジャワ島中部地震の被災者支援のため、北九州市立大学外国語学部国際関係学科と法学部政策科学科の学生が、6月10日(土)、11日(日)、17日(土)、18日(日)の計4日間JR小倉駅前募金活動を行いました。参加したのは、研究課題として東南アジアや国際協力といったテーマを扱っている国際関係学科大平助教ゼミ、政策科学科三宅教授ゼミの学生15名です。三宅教授ゼミでは、毎年合宿でジャワ島を訪れており、その縁で今回の支援を決めました。両ゼミでは、2004年のスマトラ沖震災の際にも学部学科の境を越えて有志による募金活動を実施しています。

学生たちは、現地で苦しんでいる人たちの手助けになればと大きな声を出して、駅利用者や通行人に募金を呼びかけました。また、現地で撮影した写真を使った絵はがきも販売しました。集まった募金と絵はがき販売の収益は、赤十字や支援団体を通じて現地に届けました。



## 禁煙週間啓発活動の実施

5月31日(水)の世界禁煙デー、同日から6月6日(火)までの禁煙週間にあわせ、北方地区安全衛生委員会が啓発ちらしの配布を行いました。

ちらしでは、喫煙の及ぼす健康被害だけでなく、受動喫煙による健康被害についてふれました。

また、イントラネット掲示による教職員への周知活動、ポスター掲示なども行いました。



# 学生☆サークル




## 硬式野球部3年連続全国大会出場ならず

硬式野球部は、2006年春季リーグを8勝2敗の2位で終え、3年連続の全日本大学野球選手権大会の出場はなりませんでした。

4勝を上げた 梶野 修平 投手(経済学部3年)が最優秀選手を獲得しました。



## 応援団チアリーダー部頑張ってます

応援団チアリーダー部は、新北九州空港開港イベントに小倉南区を代表し出演しました。

同部は、例年車椅子バスケットボール大会のハーフタイムショーに出演するなど幅広く活動していますが、平成17年度にはJAPANCUP2005チアリーディング日本選手権大会への出場を果たし、より多くの皆さんに愛される団体へと成長しました。



## ESS(米英研究会) 姫山杯ディベート大会優勝

6月11日(日)、山口大学で行われた、第22回姫山杯ディベート大会において、本学ESSの北九州市立大学Bチームが優勝、同Aチームが3位と健闘しました。



## 全西日本大学生中国語コンテストで中国語会話研究会活躍

五星奨 - 全西日本大学生中国語コンテストが、6月3日(土)、北九州市立大学主催、中国駐福岡総領事館の後援で開催されました。

当日は、武垂朋総領事が見守る中、中国語会話研究会所属の 綾 三恵子さん(外国語学部4年)がスピーチの部で、中瀬古 健さん(外国語学部2年)が暗唱の部で、それぞれ優勝しました。

なお、中瀬古さんは、南開大学1年間学費免除留学権を獲得しました。



## 空手道部全九州学生空手道選手権3位入賞、全日本大会へ出場

5月14日(日)から、宮崎で行われた第47回全九州学生空手道選手権大会女子形で、空手道部の 八瀬友紀さん(文学部2年)が3位に入賞し、全日本空手道選手権大会へ出場しました。

八瀬さんは、大分国体(平成20年度)の強化選手に指定されており、今後の活躍も期待されます。

# お知らせ

## 人事

### <退職>

(死亡)  
5/15付 古牧 育男  
(国際環境工学部教授)

### <名誉教授>

4/1付  
第76号 山崎 克明  
(元産業社会研究所長)  
第77号 辻 光博  
(元外国語学部教授)  
第78号 乗口 眞一郎  
(元外国語学部長)  
第79号 村田 朋美  
(元国際環境工学部教授)  
第80号 高橋 進一  
(元国際環境工学部長)

### <叙位叙勲>

6/13付  
正五位瑞宝小綬章  
高橋 進一 名誉教授

※高橋進一名誉教授は5/15死去

## 行事予定

8/27 大学院修士課程  
(前期日程) 入試  
9/24 大学院社会システム研究科  
(前期日程) 入試  
9/27 編入学試験  
9/28 9月卒業生学位授与式  
10/2 第2学期授業開始  
10/8  
- 20 産学連携フェア  
(ひびきの)  
11/2  
- 5 (予定) 青嵐祭  
11/11  
- 12 ひびきの祭  
11/26 推薦入学試験  
社会人特別選抜試験

## 保健室からのお知らせ

蝉の声が一斉に大空に響いて夏本番。私、4月から新しく教職員と学生の健康管理を担当しています。昨年の健康診断結果の某学部は、所見ありが81%でストレスの高さに驚き、7月の研修会で生活習慣病を中心に予防の話をいたしました。職員には産業医と保健指導をしています。



生田 健康総括主幹

長期に閉じこもって医療にのれなかったり、メンタルで苦しんでいる学生には保護者との面接や医療機関と連携した医療ルートの道を開いたり、訪問により気持ちを聴いたりしています。来年からは学生に社会人になって大いに役立つ自己管理論を話します。

心と身体は表裏一体、繊細です。安心して教鞭や仕事に励めるようお力になりたいと思います。家族の健康や子育てについてもお気軽にお声をおかけ下さい。お待ちしております。

# 北九州市立大学が新しく生まれ変わる！ 平成19(2007)年4月 学部学科等を再編成します

(文部科学省設置認可届出予定)

北九州市立大学は平成19(2007)年4月、新しく生まれ変わります。「入試から就職までの一貫した教育システム」を整備し、学部学科等を再編成して、時代を切り開く人材の育成に努めます。

## I 学部学科等の再編成の考え方

北九州市立大学は、常に新しい時代と社会に即応する教育・研究体制の充実を図っています。現在では、外国語学部、経済学部、文学部、法学部、国際環境工学部の5学部に加えて、大学院7研究科を有する我が国でも屈指の公立の総合大学になっています。北九州市立大学は、この総合大学の強みとメリットを最大限に生かして、確かな専門性と柔軟な思考力を持った人材の育成に力を注いでいます。さらに、地域社会の要請や学生のニーズに応えるために、昼夜開講制やセメスター制度の導入、学生の授業評価の実施など教育システムを見直し、学生の声を反映した教育の改善にも取り組んでいます。

学生一人ひとりが知を探求し、個性を磨いて、社会に飛び立っていく滑走路、それが大学の学部学科です。北九州市立大学は、これまでも増して魅力的で個性的な教育プログラムを提供し、社会に対する教育責任をしっかりと果たすために、学部学科等を再編成します。

主要な基本的方向は次の三つです。

### (1) 基盤教育センターの設置・強化

現在、日本の各大学が抱える教育上の大きな問題は、いかに人間性豊かな人材を育成するかということです。この「人間形成」と「人格形成」という課題に対して、本学は全国の大学に先駆けて、約20人の教員スタッフを抱える基盤教育センターを設置し、全学を挙げて「人間力」を育成・強化することに取り組めます。

### (2) 外国語学部の強化

21世紀におけるグローバル化の本格化と中国を中心とする東アジアの重要性が増大する中で、国際感覚に優れた人材を数多く輩出してきたことについて、北九州市立大学は高い評価を受けています。このような時代の動きに応えるため、外国語学部の外国語学科(英語専攻、中国語専攻)、国際関係学科の2学科から英米学科、中国学科、国際関係学科の3学科体制として本学発祥の学部である外国語学部を強化します。

### (3) 専門職大学院ビジネススクール(MBA)の開設

地域のニーズに対応し、高度なマネジメント能力を備えた専門職業人を養成する専門職大学院ビジネススクール(MBA)を開設します。

## II 再編成後の学部学科入学定員変更(予定)

- 英米学科、中国学科に昇格・充実  
外国語学部の外国語学科英語専攻、中国語専攻が英米学科、中国学科に昇格し充実
  - 外国語学部の定員が30人増(235人→265人)  
英米学科10人増、中国学科10人増、国際関係学科10人増
  - 経済学部の定員が30人減(340人→310人)  
専門職大学院ビジネススクールの開設に伴い、経済学科15人減、経営情報学科15人減
- なお、外国語学部の定員増は前期試験の入学定員の増、経済学部の定員減は後期試験の入学定員の減で、実施する予定です。
- ※網掛けが変更予定

(現 在)		(平成19年度)	
学部	学科・専攻	学部	学科
外国語学部	外国語学科英語専攻	外国語学部	英米学科
	(夜)		(夜)
	外国語学科中国語専攻		中国学科
	(夜)		(夜)
外国語学部	国際関係学科	外国語学部	国際関係学科
	(夜)		(夜)
計		計	
経済学部	経済学科	経済学部	経済学科
	(夜)		(夜)
	経営情報学科		経営情報学科
	(夜)		(夜)
計		計	
文学部	比較文化学科	文学部	比較文化学科
	(夜)		(夜)
	人間関係学科		人間関係学科
計		計	
法学部	法律学科	法学部	法律学科
	(夜)		(夜)
	政策科学科		政策科学科
計		計	
国際環境工学部	環境科学プロセス工学科	国際環境工学部	環境科学プロセス工学科
	環境機械システム工学科		環境機械システム工学科
	情報メディア工学科		情報メディア工学科
	環境空間デザイン学科		環境空間デザイン学科
	計		計
計		計	

### III 各学部等の概要

#### (1) 外国語学部

外国語学部は、北九州外事専門学校創立以来からの本学の中心をなす学部としての歴史を有しており、その語学力と国際感覚を生かして国際社会で活躍する人材を世に送り出してきました。

今回の再編成では、外国語学科の英語専攻と中国語専攻をそれぞれ英米学科と中国学科に昇格させ、拡充・強化します。また、国際関係学科は東（韓国等）・東南アジア分野を充実・強化します。

##### 英米学科

英米学科は、英語を読む、聞く、話す、書くことのできる実践的英語能力と豊かな国際的センスを持つ人材の養成を目指し、この目標達成に向けて学科の教員が全力を注ぎます。

そのために、従来のカリキュラムと教授方法を見直し、英語教育担当教員を大幅に増員します。

その特徴として、1年次から4年次までの授業にネイティブスピーカー教員を配置し、英語実践能力を徹底的に磨く一方で、英語圏の文化、政治、ビジネスについても学ぶことができます。専門科目は演習を中心に少人数クラス編成とし、特に3・4年次の演習では、通訳、翻訳、メディア英語など実践的ゼミを配置して、進路を意識した教育を行います。

##### 中国学科

北九州市という中国に近い地理的条件を生かして、長年にわたって中国語教育に取り組み、中国語や現代中国に精通した人材を養成してきました。この実績を生かして、今回の再編成では、中国語をベースにした中国の歴史・経済分野を拡充します。

中国語と中国文化・社会等を学び、ダイナミックに変動するありのままの中国を知るとともに、実践的な中国語を習得し、今後のアジアの時代をリードする人材を育成します。

##### 国際関係学科

英語のみではなく、近隣のアジア諸国やヨーロッパの言語も学び、様々な国際問題などにも目を向ける社会科学分野の知識を養成してきましたが、今回、韓国経済と東南アジア地域研究分野を拡充します。充実したカリキュラムで多様な文化を幅広く学び、躍動する世界を視野に新たな国際関係を築く知性を養うことで、国際協調の礎を構築できる人材を育成します。

#### (2) 経済学部

経済学部は、経済と社会の密接な関係をグローバルな視野で捉えることのできる人材を育成してきました。

また、平成19(2007)年4月に専門職大学院ビジネススクール(MBA)を設置することに伴い、学科の定員を見直し、これまで以上に現代社会に対応できる教育プログラムを構築します。

##### 経済学科

現代の経済学は、環境問題を始めとして、地域的、国際的、地球的課題に対して新たな経済システムをデザインし、構築することが求められています。こうした流れを踏まえて、経済学科では、地球市民的視野と豊かな教養を身につけ、同時に経済学の高度な専門知識を備えた、理論と実践を統合できる専門的職業人を育成します。

##### 経営情報学科

高度化、複雑化する現代社会に対応するためには、総合的な環境分析やマネジメント理論とともに、コンピュータ解析や経営工学の技法の習得が不可欠になっています。

経営情報学科では、理論と実践を統合した教育を通じて、ジェネラリストとしての総合力とスペシャリストとしての高度専門知識を備えた有能な人材、問題解決型人材を育成します。

#### (3) 文学部

文学部は、多彩なアプローチで人間と文化の相互関係を理解できる人材を育成してきました。

今回の再編成では、比較文化学科を整備し、英米に加え、欧州の文化及び歴史などを充実・強化しました。

##### 比較文化学科

比較文化学科では、日本文化と異文化を正しく理解し、地球的視野に立てる人材を育成してきました。さらに今回、英米及びフランス・ドイツに加え、スペイン・ロシアなど欧州文化・歴史分野等を充実・強化し、これまで以上に国際化の時代に不可欠な「日本文化を見据え、異文化を正しく理解し、世界を視野に入れた国際人」を育成します。

##### 人間関係学科

人間関係学科では、理論と実践を通じて、人間と社会を総合的に探求することのできる人材を育成してきました。これまで以上に、実験、実習、調査、フィールドワークなどの実践的教育を充実・強化し、心身の健康、教育、文化、環境などに関し、総合的な理解と深い知識を生かしながら、人間にかかわるさまざまな領域で活躍できる人材を育成します。

#### (4) 法学部

法学部は、社会情勢の変革が加速する時代において、多方面にわたる社会現象を広い視野から深く理解し、総合的に判断し、的確に処理しうる能力を有する能動的かつ実践的な人材を育成します。

##### 法律学科

法律学科では、高度に発達した現代社会の様々な現象と課題に適切に対応するために必要とされる「法的思考力(リーガルマインド)」を身につけるとともに、特色ある履修コースを設定して、これまで以上に、現代社会の課題に柔軟に対応できる主体的・実践的な人材を育成します。

##### 政策科学科

政策科学科では、福祉・環境・情報、政治体制や国家の枠組みの動揺、頻発する民族紛争、経済のグローバル化など、ミクロからマクロまで各レベルで新たな問題を解決できる能力である「政策的思考能力(ポリシーマインド)」を有し、国際社会に応える、新たな政策アプローチを身につけた人材を育成します。

## (5) 国際環境工学部

平成13(2001)年4月に国際環境工学部が設置されて以来、未来を切り開く叡智と技術をもつ人材を育成してきました。

今後、地球環境問題など21世紀に直面する課題に挑戦し、日本だけでなくアジアに向けて育成に取り組みます。

### 環境化学プロセス工学科

環境化学プロセス工学科は、自然界・環境と調和する有効な科学技術とシステムの開発とともに、自然環境に調和した新素材の開発や資源の有効活用・物質の高度リサイクル技術(物質循環システム)の開発、有害物の無害化利用の新プロセス開発等に取り組むことにより、グローバルな21世紀型人材を育成します。

### 環境機械システム工学科

環境機械システム工学科は、エネルギー・資源問題、地球温暖化、廃棄物処理・環境汚染などの課題を解決し、「豊かな社会」と「持続可能な社会」を両立させることのできる環境問題に対応した人材を育成します。

### 情報メディア工学科

情報メディア工学科は、情報技術の進歩により、多様な地域の人々とのコミュニケーションが可能になった現代において、単に技術を追求するだけでなく、メディアを駆使して自ら未来を描くことができる情報のスペシャリストを育成します。

### 環境空間デザイン学科

環境空間デザイン学科は、従来の建築学の領域を拡大し、省資源・低環境負担のための建築・地域システムを創造するため、資源・エネルギーやエコロジーに関わる研究分野と実践領域を統合し、望ましい人間環境を創造する人材を育成します。

## (6) 基盤教育センターの拡充・強化

学生への教養教育、外国語教育、情報教育等を充実し、また、学部専門教育への円滑な接続を確立するため、平成18(2006)年4月、「基盤教育センター」を設立しました。

今後もセンターを拡充・強化し、学生が主体的に課題を解決していくための能力の育成、卒業後の生き方への指針、社会での活躍を支える基礎知識などについて責任をもって取り組みます。

### 基盤教育とは何か

私たちが生きる現代社会はグローバル化や情報化が進展し、激しく変化しています。「基盤教育」では、このような現代社会が生み出す様々な課題を解決しながら、自ら考え判断して生きていくことができる「基盤」となる能力、すなわち「現代を生き抜く力」を伸ばす教育を行います。

### 新しい基盤教育

「基盤教育」は、1・2年生を中心とした従来の基礎教育とは異なり、高校から大学、さらに専門教育への接続、卒業後の社会への橋渡しまでを含めて、学生の皆さんの入学時から卒業時までに関わる教育体制を備えています。

学部学科の専門科目を学ぶとともに、この「基盤教育」を通じて、深い教養と豊かな人間性を育むことによって、卒業後の将来にも結びつく能力を習得できる教育を提供します。

### 基盤教育の三つの科目群

『教養教育科目』『外国語教育科目』『情報教育科目』の三つの科目群から構成されます。

『教養教育科目』では、人間の知恵や幅広い知の実践について学びます。

この科目群では、様々な学問領域を横断する学際的な講義、入学から卒業へ至るまでの実践的キャリア科目、専門教育に必要な学習スキル科目や専門教育との対話、生活に必要な基本スキル科目などを通して、実践知の修得を目指します。

『外国語教育科目』では、より実践的な英語力とともに、多言語・多文化主義の理解及び異文化を受け止める力(情報の受発信等)を身につけます。そして、言語コミュニケーションへの認識を深めます。

この科目群では、単にその言語の習得やその言語が使用される国や地域についての知見を得ることにとどまらず、相応の語学力の獲得を通じて異文化間コミュニケーション能力の習得を目指します。

『情報教育科目』では、氾濫し複雑化する情報に主体的に向き合い、情報化社会を生き抜く力及び自ら解決する能力を身につけます。

この科目群では、コンピュータを中心とする情報システムを使いこなす技能や情報システムの背後にある論理的な考え方の習得、及び社会との接点における情報対応や情報システムを用いた問題解決能力の習得を目指します。





# 平成19(2007)年4月 専門職大学院ビジネススクール (MBA) を設置予定 (文部科学省設置認可申請中)

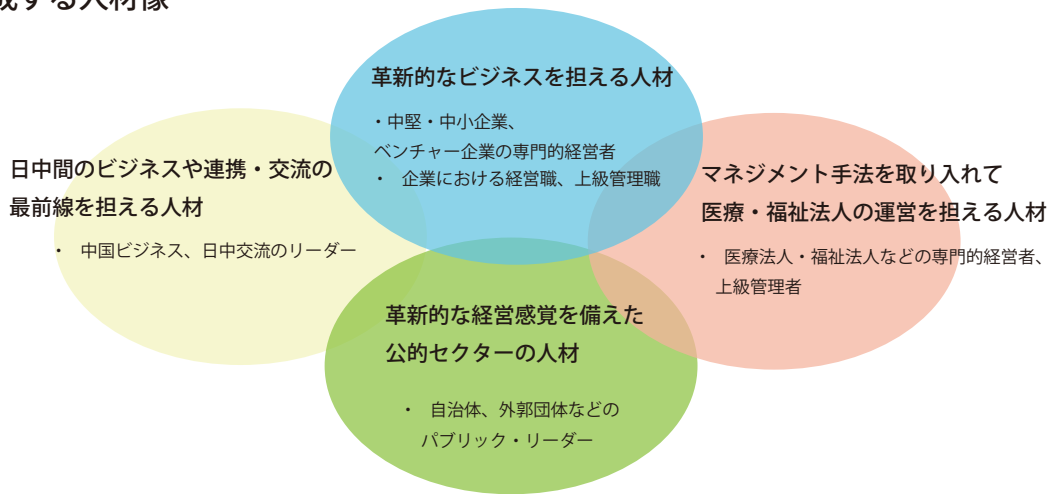
## I 趣旨・目的

主に社会人を対象として、マネジメント・経営管理に関する実践的な教育を行い、民間及び公的部門において革新的な事業創造や組織革新を実現し、地域発展の中核的役割を担える高度なマネジメント能力を備えた専門職業人を養成する。

## II 設置構想概要

- (1) 名称                    マネジメント研究科 (通称：北九大ビジネススクール)  
『K<sup>2</sup>BS (ケーツービーエス)』・・・ Kita-Kyushu Business School
- (2) 学生定員              60人 (1学年30人×2年)
- (3) 修業年限              2年 (最長4年までの長期履修学生制度を導入)
- (4) 修了単位              40単位
- (5) 学 位                   経営学修士 (専門職)・・・MBA (Master of Business Administration)
- (6) 設置時期              平成19(2007)年4月
- (7) 開講時間              平日夜間 (A1Mにサテライトキャンパス設置)    土曜昼間 (北方キャンパス)
- (8) 教員体制              地域の「知」を結集した実践重視の教員体制
- (9) 組織再編              修士課程の経営学研究科を募集停止

## III 養成する人材像



## IV カリキュラム概要



### 特 色

- ① 「ビジネス」と「パブリック」2本柱によるマネジメント能力の養成
- ② 本学の伝統を生かした中国語科目、中国ビジネス系科目の配置
- ③ 環境都市としての地域特性を背景とした環境ビジネス系科目の配置

# 会議等

平成18年6月13日～7月25日までの開催状況について掲載します。  
なお、各審議会等の議事要録については、大学ホームページから閲覧することができます。

## 役員会

第10回 6月13日(火)

- ① 専門職大学院ビジネススクール設置について
- ② 学部学科再編の基本的な方向について
- ③ 平成17年度計画に係る自己点検・評価報告書案について
- ④ 平成17年度財務諸表、決算報告及び事業報告について

## 経営審議会

第7回 6月13日(火)

- ① 専門職大学院ビジネススクール設置について
- ② 学部学科再編の基本的な方向について
- ③ 平成17年度計画に係る自己点検・評価報告書案について
- ④ 平成17年度財務諸表、決算報告及び事業報告について

## 教育研究審議会

第28回 4月25日(火)

- ① 教員の採用について
- ② 教員の退職について
- ③ 外国人留学生特別入学規程の改正について

第29回 5月9日(火)

- ① 名誉教授の称号授与について

第30回 5月23日(火)

- ① 教員の採用について
- ② カリキュラム委員会の設置について

第31回 6月6日(火)

- ① 教員の採用について
- ② ビジネススクールの設置について
- ③ 平成17年度自己点検・評価報告について

第32回 6月9日(金)

- ① 学部学科等の再編について

第33回 6月27日(火)

- ① 学部学科等再編について
- ② 新学科設置準備委員会及び学科再編準備委員会の設置について
- ③ 同意書の提出について
- ④ 入試制度の改正について

第34回 7月11日(火)

- ① 学則の変更について
- ② 教員の採用及び昇任に関する資格選考規程運用内規に関する了解事項について
- ③ 教員の採用について
- ④ 学部学科間人事調整委員会の設置について
- ⑤ 教員の学部・基盤教育センター間の異動について
- ⑥ 基盤教育センター再編準備委員会の設置について
- ⑦ 教員研究費の運用改善について

第35回 7月25日(火)

- ① 教員の採用について
- ② 旅費規程の改正について



# 北方サロン



平成18年度から毎月第3水曜日に本館7階ラウンジで研究交流会『北方サロン』を開催しています。

毎回様々な分野の先生方に話題提供していただき、第2回(5/17)では文学部の岩本真理子先生、恒吉紀寿先生、第3回(6/28)は基盤教育センターの漆原朗子先生、スーザン・フィッシャー先生、第4回(7/19)は外国語学部の城戸光世先生、田吹長彦先生に話題提供いただき、

研究内容やエピソードを、ユーモアを交えつつご紹介いただきました。

会場とのディスカッションでは毎回活発な意見交換が交わされるなど、アカデミックな雰囲気の中で交流が進んでいます。

今後とも多くの先生方のご参加をお待ちしております。是非一度ご参加ください。

次回(第5回)は9月20日(水)16:00からです。



第4回 北方サロン

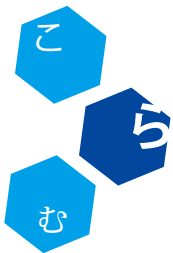
# 公開講座



平成18年度の公開講座は、春期(4~7月)、夏期(8、9月)、秋期(10~12月)に計7講座が開講されます。

春期は『「まちがい」の心理学』、『北九州市の再生-政策科学科からの提言-』の2講座が開催され、多くの市民の方に参加いただきました。

夏期は『ことばのしくみ-明日から使える英語のあれこれ-』(定員50名)、『アメリカのミュージカル、ミュージカルのアメリカ』(定員100名)、『お金のはなし-MBAアプローチ-』(定員50名)の3講座が予定されています。



## 「オープンキャンパスと就職ガイダンスを学生がプロデュース!」

キャリアセンター  
助教授 真鍋 和博

キャリア教育の一環として、コンセプト設定、リスクマネジメント等ビジネスで使えるスキルや考え方を学びながら企画、運営を学生が実行しました。以下は両チームリーダーの感想です。

『プロジェクトを通して、仕事における「報、連、相」の大切さを実感。在学生主体のオープンキャンパスが北九大

恒例になるといいですね。』  
【外国語学部4年Oさん】

『私達がガイダンス運営を通じて就活への不安が和らいだように、同じような感想を参加した学生に言っていただけは「やってよかった」と思いました。』【法学部3年Mさん】



学内のいろんな職場からのお便りです。

## 「大学と地域社会との連携拠点!」

都市政策研究所  
助教授 吉村 英俊



都市政策研究所は、平成18年4月、本学の付属機関であった北九州産業社会研究所と財団法人北九州都市協会の研究部門が統合して生まれました。産・官・民に真に開かれた研究所として、価値創造を図り、地域社会の発展に貢献してまいります。

具体的には、本学の5学部・大学院

7研究科の知的総合力を發揮して、産業社会、社会福祉、都市計画の分野について、受託研究をはじめとする調査研究や助言指導、研究プロジェクトの企画などを行ないます。また、資料室には14,000冊を越える貴重な文献が所蔵されており、多くの方々の調査研究に寄与しています。

## 「はい、こちらは北九州市立大学防災センターです。」

防災センター  
所長 吉岡 義雄

私達はキャンパス内の電気、冷暖房、給排水など建築設備の運転管理・セキュリティ(鍵管理や警備)、公用車、駐車場、体育館の管理・建物内外の清掃などの業務を委託されています。

キャンパスの中であまり目にかかることは無いと思いますが、常に皆様の安全と

健康を守る為、そして清潔で快適な環境を創る為に働いています。

私達は「縁の下の力持ち」的なこの仕事に自信と誇りを持っています。

ぜひ一度本館地下の防災センターまでお越し下さい。





# 北九大進学をお考えの皆さまへ

北九州市立大学では、高校生、保護者あるいは高校の先生を対象とした広報として様々な取り組みを行っております。今年度4月から7月までの実績をご紹介します。

## 進路指導担当者懇談会

高等学校や予備校等の進路指導ご担当の皆様にも本学学部学科の特色や入試・就職等についてご説明し、進路指導の参考としていただくために毎年度開催しています。

今年度は7月5日(水)に開催し、兵庫県以西の高等学校・予備校から175校216名の先生方にご参加いただきました。2部形式で開催され、第1部は学部学科や入試結果・変更点などについて、第2部は各学部ごとにさらに詳細な説明会を実施しました。

来年度も開催する予定ですので、ご参加をお待ちしております。



## 進学ガイダンス

九州・山口各県などで新聞社等の主催で開催される進学ガイダンスに参加しています。

今年度は4～7月、鹿児島や山口など計24箇所に参加し、計686名の高校生等の入試や就職・留学等の個別の相談に対応しています。

毎回熱心な高校生や保護者の方にご来場いただいております。

<今後の進学ガイダンス参加予定>

開催地	日時	会場(所在地)	主催
北九州市	9/29(金) 15:00-18:30	リーガロイヤルホテル小倉 (北九州市小倉北区浅野1-1-1)	栄美通信
福岡市	9/28(木) 15:00-18:30	ソラリア西鉄ホテル (福岡市中央区天神2-2-43)	栄美通信
	12/8(金) 15:00-18:30	西鉄ホール(ソラリア6階) (福岡市中央区天神2-11-3)	栄美通信
長崎市	9/12(火) 15:00-18:30	ベストウエスタンプレミアホテル長崎 (長崎市宝町2-26)	栄美通信
熊本市	9/25(月) 15:00-18:30	ホテル日航熊本 (熊本市上通町2-1)	栄美通信
広島市	12/2(土) 13:00-16:00	NTTクレドホール (広島市中区基町6-78)	貿易広告社

## 出張講義

高等学校からのご依頼を受け、本学の各学部教員が高等学校へ出張し、高等学校で模擬授業を実施します。

今年度は4～7月、計14高等学校へ出張講義をしました。

## 高校訪問

ご依頼のありました高等学校へ大学の職員がお伺いし、北九州市立大学の学部学科の特色や入試制度、留学制度、就職状況や就職支援の取組みなどについて資料を使って生徒さんへご説明します。

今年度は4～7月、12高校へ大学の説明をしました。

## 大学訪問

ご依頼のありました高等学校の生徒・PTA等の皆さんに北方キャンパス、ひびきのキャンパスへお越しいただき、両キャンパスの施設等を実際にご案内し、教室を使用して、北九州市立大学の学部学科の特色や入試制度、留学制度、就職状況や就職支援の取組みなどについて資料を使ってご説明します。

今年度は4～7月、4高校210名の高校生・PTAの皆さんをご案内しました。

◎出張講義、高校訪問、大学訪問についてのお問い合わせは、大学事務局経営企画課(Tel 093-964-4195)までお願いします。

